

福田三男会長の新年挨拶

歳の初めに

宇都宮駅にほど近いビルの八階から師走の街を見下ろしている。地上の道には車があふれ、喧騒に包まれているのだろうが、それもここまでは届かない。静かな歳末だ。

昨年、何が起きたのかを振り返ってみる。二月、ロシアがウクライナに侵攻。以来ウクライナ各地で激戦が続く。北朝鮮は打ち上げ花火のようにミサイルを発射し続けている。台湾海峡の暗雲も晴れる気配はない。それどころか「核」という文字が当たり前のように新聞紙上を飛び交っている。

年末に発表された二〇二二年の漢字は「戦」だった。ウクライナを念頭に、スポーツの世界大会での日本勢の活躍などが加味されたのだろう。「戦」はそよぐとも読む。「風に戦ぐ葦」は聖書の言葉だが、自分の意見を待たず、権力者の言いなりになる人物を指す。石川達三に同名の長編小説がある。戦時下の日本で起きた最大、最悪の言論弾圧事件、横浜事件をモデルに書かれた。

アメリカに「戦争の最初の犠牲者は新聞である」という名言がある。「新聞」を「言論の自由」、「表現の自由」と置き換えることができる。ロシアでは開戦以来言論弾圧が激しさを増しているらしい。

友人の一人がウクライナの義勇兵になる、と息巻いていたが、その後どうしたことだろう。本気とは思わないが「七五歳、足手まといになるだけだ」と笑っておいた。だが、我が身を振り返ってみれば、そこにはただ、おろおろするばかりの老人がひとりいるばかりである。

しっかりと自分の意思、意見を持ち、それを表現して他に伝えてゆくことこそ大切なのだと思う。

福田 三男

※ この文章は本年1月1日に協会の公式ホームページへアップロードされました。

朝明第11号合評会を開催しました

1月15日(日)午後1時30分から、宇都宮市の栃木県教育会館において、朝明第11号合評会が開かれました。コロナの影響により3年ぶりの開催となり、14名の出席者がありました。

福田三男会長の挨拶の後、三上博史朝明編集委員長の進行により意見が交わされました。まず配付資料に基づいて、三上委員長から、①装丁・表紙、②特集「安らぎー小さな集まりー」、③部門別作品、④編集及びその他全体的な評価・印象等の項目に沿って説明がなされました。

出席者からの意見は、詩部門のレイアウトの見直し(行間隔を空ける等)、随筆部門の余白の問題(字数不足)などがあり、活発に議論されました。今後に向けて改善を図っていくこととなりました。

最後に、出席者が一堂に会して記念写真を撮って終了となりました。

新春懇親会はコロナの影響がまだ続き、残念ながら今年も中止となりましたが、次回は是非開催して会員相互の親睦を深めたいと考えています。

※ 合評会において配付された資料「朝明第11号への意見・感想」を同封しましたので、参加できなかった方はご覧になってください。

役員会を4月15日(土)に開催します

栃木県文芸家協会役員 各位

栃木県文芸家協会会長 福田 三男

栃木県文芸家協会規約第11条の規定に基づき、栃木県文芸家協会役員会を以下のとおり開催いたします。

ます。役員においては、万障お繰り合わせの上ご出席ください。

役員向けに同封した出欠の返信ハガキを4月10日(月)までに事務局あて必ず送付してください。

1. 日 時 令和5年4月15日(土) 午後1時30分～3時
2. 場 所 宇都宮市中央生涯学習センター[宇都宮市中央1-1-13 /TEL 028-632-6331]
3. 議 題 (1) 令和5年度栃木県文芸家協会総会審議案件について
(2) その他

令和5年度総会を5月21日(日)に開催します

栃木県文芸家協会会員 各位

栃木県文芸家協会長 福田 三男

栃木県文芸家協会規約第11条の規定に基づき、令和5年度栃木県文芸家協会総会を以下のとおり開催いたします。会員においては、万障お繰り合わせの上ご出席くださるよう案内いたします。

1. 日 時 令和5年5月21日(日) 午後1時30分～2時30分
2. 場 所 栃木県教育会館 [宇都宮市駒生1-1-6/TEL 028(621)7177]
／JR宇都宮駅方面から関東バス「作新学院・駒生」行きに乗車し「東中丸(会館前)」下車
* 駐車場有り
3. 議 題 (1) 令和4年度栃木県文芸家協会事業報告について
(2) 令和4年度栃木県文芸家協会収支決算報告について
(3) 令和5年度栃木県文芸家協会事業計画について
(4) 令和5年度栃木県文芸家協会収支予算について
(5) その他(夏季講演会、朝明第12号の編集方針等)

※ 総会終了後の懇親会は、コロナ禍の状況から開催いたしません。

※ 総会の出欠については、同封した返信ハガキを5月15日(月)までに事務局あて必ず送付してください。

令和5年度年会費の納入及び寄付のお願いについて

令和5年度の年会費(8,000円)納入を通知します。今回同封した所定の郵便局振替用紙にて、5月末までに納入をお願いいたします。

また年会費の納入と併せて、令和4年度から会員からの寄付を募ることにしています。1口1,000円で何口でも承ります。あくまでも任意ですが、協会の安定的な運営のために是非ご協力ください。

なお、振替払込受領証は領収書となるので大切に保管してください。

§ 寄贈書籍の紹介 §

○ 同人誌「r e r a」第二号／編集・生きがい創造舎／発行所・生きがい創造舎 事務局／発行日・2022年12月12日[発行所からの寄贈]

・9名の作家による短編小説が収められている。当協会からは、福富陽子、寺崎暁生、大泉耀子(古谷耀子)、鈴木あぐり、相馬龍久、柴崎幸子、石塚蓉子、島田トミ子、の8名の会員が作品を寄せている。123ページ

○ 「那須の緒 第18号」／発行所・貝塚津音魚／発行日・2023年1月21日[発行所からの寄贈]

* ∞ * 事務局通信 * ∞ *

朝明第11号の在庫がまだ50冊あります。協会の安定的な運営のため、さらに新会員を勧誘するためにも、ぜひ追加で注文されるようご案内します。

コロナの感染がまだ終息には至っておりませんが、社会現象としてのコロナはいよいよ収束に向かい始めました。総会後の懇親会はまだ無理と判断いたしました。しかし、何とか夏季講演会後の暑気払いは開催したいと考えています。また秋の懇親旅行も令和5年度の事業計画に盛り込む予定です。(三上)